

# 雪がた

豊科病院 広報誌

令和7年11月20日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会

〒399-8205

長野県安曇野市豊科5777-1

Tel: 0263-72-8400

URL <http://www.shironishi.or.jp/>

## 豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障碍を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

## 入院者訪問支援事業はじまる

～当院は先行実施病院として9月より開始～

精神保健福祉法の改正により、令和6年度から「入院者訪問支援事業」が開始されました。本事業は、精神科病院に入院されている方（特に本人の同意によらない医療保護入院など）に対して、外部の第三者

が病院を訪問し、傾聴・相談支援・情報提供を行う制度です。この事業は、精神障害のある方の人権を守り、地域生活への移行を支える重要な仕組みです。

今回は、本事業についてQ&A形式で紹介します。

### Q .. 制度の目的は？

A .. 入院患者さんの孤立感を軽減し、安心感の確保、権利擁護の推進（本人の意思を尊重し、退院や地域生活への移行を支援）、情報提供（福祉制度、地域資源、退院後の生活支

### Q .. 入院患者は全員が対象ですか？

A .. いえ。長野県においては、親族が不在などの理由により、市町村長の同意で医療保護入院されている方を主な対象としています。今後、対象範囲が拡大される可能性もあります。



Q : どのような人が訪問するのですか?

A : 外部から「入院者訪問支援員」(以下、訪問支援員)が病院を訪問します。長野県の場合、現時点では、研修を受けたピアサポート(※①)と精神保健福祉士(※②)が訪問支援員として活動しています。令和6年度からは、ピアサポートおよび精神保健福祉士を対象に、県内訪問支援員の養成研修が定期的に開催されています。今後は、資格要件を限定せず、福祉・医療関係者、弁護士、市民など、より多様な方が訪問支援員として活動する方が期待されます。

Q : 訪問支援員の役割は何ですか?

A : 入院患者さんの話を傾聴し、気持ちを受け止める」と。生活に関する相談に応じたりと。地域資源や制度に関する情報提供を行なう」と。そして、患者さんの権利擁護に軸足を置いた医療機関外の第三者の立場で支援し、守秘義務を

導かれて」と。などが主な役割です。

Q : すでに事業は実施されていますか?

A : 長野県では、県が指定した県内4つの精神科病院において先行実施されています。そのうちの一つが当院・豊科病院です。当院では、令和7年9月2日より、訪問支援員が来院され、数名の入院患者さんに対して面談を行っています。長野県内の他の精神科病院は、令和8年1月頃から実施されます。

Q : 1Jの事業の実施主体はどですか?

A : 都道府県(長野県)が主体となつて事業を運営しています。

Q : 利用までの流れは?

A : 長野県の場合、市町村長の同意により医療保護入院されている方が、訪問支援員の来院を希望する」とから始まります。その入院者本人、または本人から依頼を受けた病院職員が、長野県庁の

担当課へ電話等で申し込みます。長野県は2名の訪問支援員を病院へ派遣し、1回あたり30~40分程度の面談を行います。面談時間は人によって異なります。入院中に不安に感じて「」など、自由に相談することができる。また、訪問支援員との面談は、1回限りではなく、何度も希望できます。

※①【ピアサポート】  
「ピア(peer)」は仲間や同僚という意味。ある問題をかかえる当事者が同じ問題を抱える者を仲間の立場で支援合う」とを「ピアサポート」と云う。精神保健領域における「アサポート」は、精神障害者が自らの体験に基づいて、仲間の障害者を支援する活動を指し、支援する障害者を「ピアサポート」と呼んでいます。

※②【精神保健福祉士】  
精神障害がある人の生活支援や社会機能を専門とする国家資格。医療・福祉・行政などに勤務すると同時に、それらの分野と連携し、相談援助や制度活用を通じて、地域での自立・社会参加を促進する専門職。

## 豊科病院のAEDはどこにある?

担当課へ電話等で申し込みます。長野県は2名の訪問支援員を病院へ派遣し、1回あたり30~40分程度の面談を行います。面談時間は人によって異なります。入院中に不安に感じて「」など、自由に相談することができる。また、訪問支援員との面談は、1回限りではなく、何度も希望できます。

※①【ピアサポート】  
「ピア(peer)」は仲間や同僚という意味。ある問題をかかえる当事者が同じ問題を抱える者を仲間の立場で支援合う」とを「ピアサポート」と云う。精神保健領域における「アサポート」は、精神障害者が自らの体験に基づいて、仲間の障害者を支援する活動を指し、支援する障害者を「ピアサポート」と呼んでいます。

※②【精神保健福祉士】  
精神障害がある人の生活支援や社会機能を専門とする国家資格。医療・福祉・行政などに勤務すると同時に、それらの分野と連携し、相談援助や制度活用を通じて、地域での自立・社会参加を促進する専門職。

い場所に配置する」と、地域の皆さまが「一秒でも早く」利用いただけるようあります。

当院に限らず、公共機関や店舗など、日々からAEDの設置場所を確認しておいでが必要ですね。



南側玄関に設置の AED

の3部門です。出展された作品総数は、なんと150点以上にのぼり、壮観でした。

また、文化祭に来場された方々には、優秀な作品に投票していただきましたが、力作が多く、投票の際には時間をかけて悩まる方が多くいらっしゃいました。来場者からは「綺麗に展示されてうれしい」「こんなにあるのはすばらしい」「こんなにしゃべり、職員を含め皆さまが関心高く鑑賞されていました。

さらに、塗り絵などの作品以外にも、園芸活動のポスター展示や、実際に畑から収穫した安納芋・紅あずみなどを展示しました。患者さん



に手に取つてもうつり、芋の重さや大きさを感じていただくなじ、園芸活動に参加されていない方でも楽しめる工夫がされていました。

2日間にわたる文化祭は、様々な作業療法の活動を紹介する良い機会となりました。

## 焼き芋の会

作業療法では、10月から小集団による園芸グループを実施し、院内の煙でサツマイモや野菜を育てきました。夏が過ぎ、10月にはサツマイモの収穫を行い、予想以上に多くのサツマイモを収穫することができました。患者さんからも「かなり豊作だね」「大きいサイズだね」といった声が聞かれ、大きさ・量とともに満足のいく結果となりました。

10月上旬から下旬にかけてサツマイモを乾燥させ、11月1日と11



華麗な包丁さばきを見せる患者さん

月14日に「焼き芋の会」を開催しました。調理方法については、当院が街中にあるため焚火での焼芋は難しく、電子レンジのスマート機能を用いて蒸し調理を行いました。今回は、ほくほくとした食感が特徴の紅あずま、ねつとりとした甘さが特徴の安納芋を実食しました。味については、皮や表面にやや硬さが残つたものの、実の部分は十分な甘みがあり、患者さんからは「大満足」「おしゃかった」「またやってみたい」との感想が寄せられ、充実した活動となりました。

（自治会に  
一緒に参加さ  
れました。）  
（未加入の  
入居者も一  
緒に参加さ  
れました。）

安曇野市の秋の一斎清掃に合わせ、当院は職員の業務の都合上、11月5日に参加し、当院周辺の道路の、草取りやゴミ拾いを行いました。

今回も職員だけではなく、グループホームの利用者も、



## 秋の一斎清掃に参加 ・グループホームの利用者も、

## 外来 医師担当表

令和7年11月1日現在

	月	火	水	木	金	土
内科	休 診	休 診	休 診	信州大学 病院 医師	休 診	休 診
精神科①	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしだと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみ ふち みつのり 五味剣 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師 ※	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみ ふち みつのり 五味剣 満徳 医師
精神科②		なかむら ちえみ 中村 千恵美 医師			なかむら ちえみ 中村 千恵美 医師 (新患)	
○ 受付時間	午前 7:00～正午					
○ 診療時間	午前 9:00～終了まで				※木曜日の精神科は、午前 9:30～診療開始	
○ 午後は全科休診となります。				○ご不明な点は受付へご確認ください。		
○ 曜・祝日は全科休診となります。				お問い合わせ先…Tel0263-72-8400		

### ●編集後記●

雪がた第90号はいかがだったでしょうか。

猛暑が続いた夏も過ぎ、いつの間にか季節は秋から冬へと移ろうとしています。

最近のニュースといえば、第104代目の内閣総理大臣に任命された高市早苗氏の話題や、毎日のように報じられる熊の被害です。今年の被害者数は過去最多となっており、亡くなった方も少なくありません。ここ信州も毎日熊が出没していますので、市街地であっても気をつけたいものです。

一方、メジャーリーグではドジャースの大谷翔平選手がワールドシリーズ連覇に大きく貢献し、3年連続・通算4度目のMVPを受賞しました。日本中が盛り上がり、大谷選手のニュースを見ない日はないほどです。来季は完全な二刀流として復活し、終わりなき向上心を持つ「さらにすごい大谷」がどのような活躍を見てくれるのか、今から楽しみです。

### ※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。

また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。